

縄文キッズクラブ通信

か い づ か

No.34

平成22年4月13日発行

新学年がスタート

4月、春休みが終わり、新しい学年がスタートしました。みなさん期待を胸に学校生活をすごしていることと思います。

新しい縄文キッズがスタートします。

これまで縄文キッズクラブではいろいろな体験にチャレンジしてきました。土器作り、石器作り、勾玉づくりなどなど。こうした経験を生かして、今年はテーマを決めてよりくわしく、そして楽しみながら学習していきたいと思っています。

そこで、縄文時代を勉強するならこれという「縄文土器」をテーマにします。これまでは文房具屋さんから買ってきた粘土を使っていたましたが、なんと縄文人と同じやり方、粘土づくりからチャレンジします。まずはこれまでと同じやり方で作って練習してみましよう。

4月18日(日)、入江・高砂貝塚館に9時00分までに集合してください。材料代300円がかかります。

縄文土器の粘土

縄文土器をつくるときの粘土は、いったいどこから運んできたのでしょうか。東京の多摩ニュータウンNo.248遺跡では、粘土をとったと考えられる穴がいくつも見つかっています。このことから、縄文時代はムラの近くで粘土を見つけて作っていたと



入江貝塚出土（縄文中期）

いうことがわかります。

入江貝塚では同じことがいえるのでしょうか。実際に作ってみて、本物と比べて見ましょう。

保護者の方へ

申込は必要ありません。保護者の方もぜひ参加してください。いつでも歓迎致します。

連絡先；洞爺湖町教育委員会社会教育課 角田 (Tel74-3010

Fax76-3216)

緊急の連絡は携帯にお願い致します

(090-7515-0745)。

tsunoda.takashi@town.toyako.hokkaido.jp